



平成 29 (2017) 年度
「授業研究会」「SGH 第 3 年次報告会」の御案内
神戸大学附属中等教育学校



皆様におかれましてはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本校の「平成 29 年度 授業研究会」及び「スーパーグローバルハイスクール (SGH) 第 3 年次報告会」を下記の通り開催いたします。

本校では「グローバルキャリア人」の育成を教育目標に掲げ、新学習指導要領の方向性を踏まえた教科教育と汎用的能力論, SGH で取り組む課題研究やグローバル・アクション・プログラム, ユネスコスクールの特徴を生かした ESD の実践等, 様々な教育実践活動を行っております。

つきましては多くの皆様に御参会いただき, 御指導・御助言を賜りますようよろしくお願いいたします。

平成 29 年 12 月吉日

神戸大学附属中等教育学校
 校長 藤田 裕嗣

記

- 1 期 日 平成 30 年 2 月 10 日 (土)
- 2 会 場 神戸大学附属中等教育学校
 〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手 5-11-1
 Tel 078-811-0232 Fax 078-851-9354
 URL <http://www.edu.kobe-u.ac.jp/kuss-top/>
- 3 主 催 神戸大学附属学校部 神戸大学附属中等教育学校
- 4 後 援 兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会 (申請中)

5 日 程

	8:30	9:15		9:55	10:05		10:55		11:10	12:00		12:00		13:00		13:00	14:30		14:50		16:30
受付	全体会①	休憩・移動	公開授業①	休憩・移動	公開授業②	昼休み	研究協議	休憩・移動	全体会② 14:55~16:10 講演												
		SGH分科会	ポスター発表																		

6 内 容

(1)全体会① 9:15~ 9:55 於 第2アリーナ (体育館1階)

授業研究会 テーマ	「グローバルキャリア人としての資質・能力を育成するカリキュラム開発と評価方法の研究 -汎用的能力論と新指導要領の方向性を踏まえて-」
SGH 報告会 テーマ	「地球安全保障への提言を目指す『グローバルキャリア人育成神戸モデル』」

・開会挨拶, 講師紹介, 基調報告など

(2) 公開授業①・SGH 分科会 10:05~10:55

授業研究会 公開授業

教科	授業クラス	主題・テーマ	授業紹介	授業者	教室
社会科	1-2	北アメリカ州	アメリカ合衆国が世界に影響力を持つ要因を地理的な見方・考え方を働かせて見つける授業を展開します。	上村 幸	社会科教室
数学科 【数学B】	5-1	ハノイの塔	円板がn枚のときの移動回数 a_n を求め、それが正しいことを示します。	井上 正行	5-1
理科	2-1	日本の天気	これまでに学習した気象に関する理論をもとに、日本の天気の特徴を対話的に明らかにしていきます。	若杉 誠	2-1

SGH 分科会

分科会	授業クラス	主題・テーマ	授業紹介	授業者	教室
ESD (社会科公民的分野)	3-4	AI と私たちの生活	AI をめぐる諸課題を題材に、持続可能な社会のあり方について、生徒の問いをもとにした授業を行います。	森田 育志	6-5
国際理解 (公民科現代社会)	4-2	高齢化する世界	持続可能な社会という観点から、本校の海外研修の対象となった国々を中心に、高齢化について議論します。	木下 宏史	6-4
Kobeプロジェクト (総合的な学習の時間)	5年	課題研究	研究活動として取り組んだ生徒の調査・発表活動について、生徒自身が紹介します。	島 安津子	4-1
実践発表	学年	内容	テーマなど	担当者	教室
グローバル・アクション・プログラム(GAP)	4・5・6年	国内 GAP への参加を通して得た学びについて生徒が発表します。	被災地研修 (DR3プロジェクト) ジハーク交流プログラム 模擬国連、臨海実習	瀧本 家康	6-1
グローバル・アクション・プログラム(GAP)	4・5年	海外 GAP への参加を通して得た学びについて生徒が発表します。	米国ワシントン、ベトナム、台湾高雄、英国ロンドン・ケンブリッジ、カボゾリアなど	真田 弘和	6-2
発表・研究協議	テーマなど		指導助言者	担当者	教室
ヘルスプロモーション	大学・附属校園連携研究 (1年次) 教科横断的な健康教育の実践		加藤佳子 (神戸大学)	永野 和美	2-3
道徳	子どものための哲学と道徳-パラリンピックについて考える-		梶形公也 (大阪教育大学、武庫川女子大学名誉教授)	中川 雅道	2-2

(3) 公開授業②

11:10~12:00

授業研究会 公開授業

教科等	授業クラス	主題・テーマ	授業紹介	授業者	教室
国語科	1-2	今、生きていくということ	古典「竹取物語」とジブリ映画の比較を通して、「人間として生まれ生きていくということ」について考えます。	立花 佳澄	1-2
社会科 【世界史B】	5-3・4・5	諸地域世界の交流と再編	生徒が視点を設定し、時空間をつなぎ比較・整理を行い、歴史的な見方・考え方を深める授業を提案します。	小林 理修	社会科教室
数学科	1-3	図形の等積変形	ICT 機器を利用して図形の性質を調べ、数学的対話を促し深い学びの実現を目指します。	林 兵馬	1-3
理科 【生物】	5-1・2	遺伝情報とその発現	分子レベルの生命現象について探究します。生徒が主体的に活動する授業形態を提案します。	中垣 篤志	生物教室
保健体育科 【体育分野】	3-1	障がい者スポーツについて考える	障がい者スポーツについて様々な角度から考察し、今後の障がい者スポーツの在り方について考えます。	大谷 麻子	3-1

技術・家庭科 【家庭分野】	3-3	これからの神戸 のまちづくり	神戸港開港 150 年をむかえ、共生・安全・地域を愛する等の視点でまちづくりや住まいを考え、提案します。	金田 理子	被服室
情報科 【情報の科学】	4-1	プログラミング 実習	主体的・対話的に問題解決に挑み、学びを深めることを目的とした授業を提案します。	米田 貴	第2 情報室
英語科 【ハイチオン英語I】	4-4・5	神戸の復興から 考える - Resilient Community を目指して-	神戸の復興をテーマに単元学習を展開します。論理的思考力の育成に向けたタスク構成について考えます。	津田 敦子	4-4
Kobeプロジェクト (総合的な学習の時間)	2年	探究入門	探究活動として取り組んだ生徒の調査・発表活動について、生徒自身が紹介します。	藤本 佳昭	4-1

(4) 昼休み・ポスター発表 12:00~13:00

※ポスター発表（全体会会場前（第2アリーナ前））

休憩・昼食場所（1-1, 1-4, 2-2, 2-3, 3-2, 6-1, 6-2, 6-4 各教室）

(5) 研究協議 13:00~14:30

授業研究会 研究協議

教科等	研究テーマ	担当者	指導助言者	教室
国語科	深い学び協同を通して学びを深める-	平松はるみ	目黒 強 (神戸大学)	1-2
社会科	社会的な見方・考え方を育む授業実践 -グローバルな時空間認識の育成を通して-	奥村 暁	石井 英真 (京都大学) 三田耕一郎 (神戸市教育委員会)	社会科 教室
数学科	数学的活動を通した「深い学び」を促す 授業展開の工夫	中田 雅之	岡部 恭幸 (神戸大学) 長坂 耕作 (神戸大学)	1-3
理科	サイエンスリテラシーの育成を目指した中等 教育6年間のカリキュラムの構築とその実践	植田 好人 西田 育代	伊藤 真之 (神戸大学) 佐藤 春実 (神戸大学)	集会室
保健 体育科	豊かなスポーツライフの実現を目指す授業実践	足立 雄平	高田 義弘 (神戸大学)	書道 教室
技術・ 家庭科	持続可能な住生活をおくるためのキャリア学習 ~共生・安全・地域を愛する をテーマに~	金田 理子	井上真理 (神戸大学)	被服室
情報科	オープンイノベーションとIoT	米田 貴	伊藤 一成 (青山学院大学)	第2 情報室
英語科	思考力育成につながるタスク構成の検討 -「論理性」のある生徒の育成に向けて-	軽尾 弥々	高島 英幸 (東京外国語大学)	5-5
Kobeプロジェクト (総合的な学習の時間)	6年一貫 Kobe プロジェクトの実践 -汎用的能力育成の要として-	藤本 佳昭 島 安津子	林 創 (神戸大学)	4-1

SGH 研究協議

分科会	研究テーマ	担当者	指導助言者	教室
ESD (社会科公民的分野)	持続可能な社会の形成に資する ESD の 授業実践	森田 育志	多田 孝志 (金沢学院大学)	6-5
国際理解 (公民科現代社会)	良識ある公民として必要な能力と態度 の育成を図る授業実践	木下 宏史		

(6) 全体会② 14:50~16:30 於 第2アリーナ (体育館1階)

講演 14:55~16:10	探究と協同を通じた子どもたちの「深い学び」-協同的探究学習による授業 づくり- 藤村 宣之氏 (東京大学大学院教育学研究科教授)
-------------------	---

＜講師略歴＞ 大阪府生まれ。京都大学教育学部卒業。教育学博士（京都大学大学院教育学研究科）。埼玉大学教育学部講師，名古屋大学大学院教育発達科学研究科助教授，東京大学大学院教育学研究科准教授を経て，現職。専門は，教育心理学，発達心理学。子どもの発達と学習の視点から，主に小学校・中学校・高校の教育のあり方を考えている。カーネギーメロン大学（アメリカ合衆国）客員研究員，日本学会議連携会員などを歴任。主な著書に『数学的・科学的リテラシーの心理学—子どもの学力はどう高まるか—』（単著，有斐閣，2012年），『発達心理学—周りの世界とかわりながら人はいかに育つか—』（編著，ミネルヴァ書房，2009年）などがある。

【受付（参加申込）について】

- ・事前の参加申込を行っております。本校ホームページより申込手続きをお願いいたします。
（当日の受付も可能ですが、できる限り事前申込をお願いいたします。）
（本校ホームページ <http://www.edu.kobe-u.ac.jp/kuss-top/> より
申込フォーム（12月中旬までに掲載予定）をダウンロードし、メールにてお申し込みください。）
- ・弁当（お茶付き）の事前予約による販売（1,000円、当日支払）を行っております。
御希望の場合は、ホームページの予約フォームでお申し込みください。
- ・受付終了後、名札をお渡しします。当日受付の方は御所属・お名前を御記入のうえ、学内では必ず携帯してください。
- ・学内は下足のまま移動できます。上靴の御準備は必要ありません。
- ・お車での来校はご遠慮ください。
- ・荒天時・学級閉鎖時などの対応については本校ホームページにて御確認ください。
- ・御不明な点がありましたら、本校研究部までお問い合わせください。
〔問合せ先〕 Tel ダイヤル 078-811-0237(内線 65) 研究部・グローバル教育推進室 岩見

■交通のご案内

駅からのアクセス

阪急御影駅から徒歩約 20 分

阪急御影駅から神戸市バス 19 系統・39 系統で約 15 分

※朝のラッシュ時には、19 系統において学校方面へ先に向かうバスがあります（約 7 分）

J R 住吉駅から神戸市バス 39 系統で約 20 分

阪神御影駅から神戸市バス 19 系統で約 20 分、39 系統で約 30 分

在来線

＜大阪方面からお越しの場合＞

阪急梅田駅→（特急約 12 分）→西宮北口駅→（普通約 10 分）→阪急御影駅

J R 大阪駅→（快速約 20 分）→J R 住吉駅

＜三宮方面からお越しの場合＞

阪急神戸三宮駅→（普通約 10 分）→阪急御影駅

J R 三ノ宮駅 →（快速約 8 分）→J R 住吉駅

新幹線

新神戸駅→(神戸市営地下鉄)→神戸三宮駅→(阪急線)→阪急御影

飛行機

神戸空港 →(ポートライナー)→神戸三宮駅→(阪急線)→阪急御影駅

大阪伊丹空港→(大阪モノレール)→阪急蛍池駅→(阪急線・十三経由)→阪急御影駅

